

4. 観光

	タイトル	意見等
1	観光戦略について	○後藤田正純徳島県知事は、徳島県を「ヒューマン・リゾート とくしまの海と森」の観光戦略を推進しなければならない。 ※ アグリ・ツーリズム(上勝町の農家民泊)やブルー・ツーリズム(海陽町日和佐の漁家民宿) ※ 千葉県御宿町(特急わかしお号の停車駅)や静岡県伊東市網代はブルー・ツーリズムの先進地
2	西のゴールデンルートに積極参加を	現在、日本の観光のメインルートは東京から大阪までの間で通称ゴールデンルートと言われています。それを西日本各地に広げようというのが西のゴールデンルートという取り組みで東は兵庫県から中四国、九州一円が行政及び民間が一丸となり団体を作っており本県も関与しているようです。一方で四国側では高松市や松山市が積極関与しており主要な福岡・広島・岡山等の都市と肩を並べています。それによりモデルルートも出来ていますが、本県を経由するルートは一つ也没有せん。四国新幹線や観光面での四国一体化、インバウンド客取り込みの面からの今の徳島県の取組を考えると積極関与すべきです。四国の陸の玄関口(四国三架橋通行量)の自負を示し、西のゴールデンルートに九州からの徳島へのフェリーや神戸淡路鳴門ルートも含めてもらい、従来の関西や、フェリー・航空便を通じての東京からの人の流れの一翼である点もアピールポイントです。また瀬戸大橋～琴平～池田～大歩危小歩危祖谷～高知への四国の観光ゴールデンルートである点もアピールポイントです。
3	県内博物館や美術館、資料館について	ここ1～2年ですが徳島でも全国からお越しいただけるような企画展が開催されるようになり喜ばしい限りです。一方で情報発信力が少なかったのですが美術関連のHPのARTSCAPEや美術手帖、アートジエダにも美術館の企画展が掲載されるようになっていきました。(今まではあまり県内は掲載が無かった)美術展ナビやTOKYOARTBEATにも記載されるようになると5大美術展メディアですのでよろしいかと思います。一方でこうしたHPを見ていると美術館だけでなく博物館や市町村や民間レベルの館も掲載している事から、徳島にもたくさんありますので県が呼びかけて参加してもらうようにする等の取組が必要です。また従来の県外のミュージアム(とりわけ四国4県のミュージアムや道の駅・香川の瀬戸内国際芸術祭関連のミュージアム、大阪・神戸・京都・和歌山等の主要関西圏の主要ミュージアム、広島・岡山・福岡・北九州市の主要ミュージアムに徳島のミュージアムの企画展フライヤーを定期的を送るようにすべきです。スポーツや音楽だけでなくARTも多くの方が行きかいます。観光圏徳島として沢山の人に利用してもらえる県内各地のミュージアムであってほしいものです。そして、やる気ある県内のミュージアムに対しては企画展支援等も行なっていただきたいです。 併せてプラネリウムもあすたむにあります、こちらも全国ではアパソマンやどらえもん等、その他様々な世代が楽しめるプログラムを投影しております。プラネリウムはどこにでもあつてはありせんから小さいお子さんから大人まで楽しめる全国の企画を参考にしてみるべきです。